



# 山口小だより 11月号

令和5年11月2日発行

## 充実した秋に

秋も深まりつつありますが、日中は暖かい日が続いています。秋は心や身体に栄養を蓄える大切な時期です。秋に頑張り努力したことが、冬を越し、春に開花するとも言われています。

10月には、市陸上運動記録会、市音楽会がありました。陸上記録会や音楽会の後に子どもたちに感想を聞いてみると、「たくさんの人の前で競技し、緊張してドキドキした」「みんなの前でも、うまく演奏や合唱ができてよかった」と言っていました。大勢の前で競技したり発表したりする良い機会となったようです。先日の朝会で、緊張することはわるいことではなく、そのことが大事な経験となると話しました。その緊張した経験が必ず役にたってきます。これからの生活の中で、人前で発表したり、いろいろなことに挑戦したりして、経験を積んもらいたいと思います。

また、様々な行事の中で、自分の目標に向かって努力し、どうすれば上手くできるか考え、練習をする姿がありました。行事が終わるごとに子どもたちの成長を感じることができています。これからも学習や運動、生活の中で自分の課題や目標に向かって努力し、充実した秋にしてほしいと思います。



## 「自分自身のために・・・」

後期の始業式で、子どもたちに二つの事について話しました。

一つ目は、「話をしっかり聴こう」です。それは、授業や学習・活動で先生や友達、いろいろな人の話を最後までしっかりと聴くということです。話をしっかり聴いていると、自分でできることが増え、問題の解き方や考え方・やり方がよく分かるようになります。また、友達の話や話を聴くと、友達の気持ちが分かるようになり、友達の楽しい事、イヤな事、悲しい事が分かります。自分の事だけでなく友達の話もしっかり聴けるようになってほしいと思います。

二つ目は、「相手の事を考えよう」です。私たちは自分一人で生活しているわけではなく、たくさんの人の中で生活しています。その中で、いつも自分の事ばかり考えて話をしたり、行動したりすると友達や周りの人はイヤな気持ちになり、相手が嫌がる事や悲しくなる事・してほしくない事をする、友達や周りの人はすごくイヤな気持ちになります。それは相手の事を考えているとは言えず、自分さえよければという考え方です。子どもたちは、小学校を卒業すると、今よりたくさんの人と生活します。その中で相手の事を思いやる気持ちをもってもらいたいと思います。

この話をして、先週の学年発表の時には、発表している人、質問している人に体を向け、しっかりと話を聴ける人がたくさんいました。自分自身を高めるために続けてほしいと思います。



## 心を一つに阿南市小学校音楽会

10月26日(木)に市文化会館において阿南市小学校音楽会が開催されました。山口小学校は第2部の13番目で、前の学校が終わり、舞台上に立ちました。最初は、5・6年生がオカリナで「ふるさと」を演奏し、心地よい音色が聞こえてきました。その後、「いのちのうた」を合唱しました。一人一人が自分の役割を果たし、美しい歌声がホールいっぱいひびいてひろがりました。素晴らしい演奏・合唱を披露できたのは、教えていただいた先生方や応援してくださった保護者の皆様のおかげだと思います。ありがとうございました。また、当日この舞台上に立つことができなかつたけど、学校での練習やリハーサルで一生懸命演奏や歌唱している姿は、輝いていました。この音楽会を通して、山口小学校のみんなの心が一つになったと思います。



みんなで考えた音楽会のめあて



阿南市小学校音楽会での演奏・合唱



学校でのリハーサル

## 山口っ子新聞完成

6月に徳島新聞社の方に新聞の作り方を教えていただき、その後、4～6年生が5つの班に分かれて取材・編集した「山口っ子新聞」が完成しました。子どもたちは、山口小学校や山口の地域のことを分かりやすく伝えるために何度も修正を重ねました。10月30日(月)の徳島新聞に掲載されました。みんなで協力し、よい新聞ができたと思います。

